

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
工事の現況などについてお知らせいたします。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL:0226-25-5661 FAX:0226-24-3341

※現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい(担当:小室)



工事現況

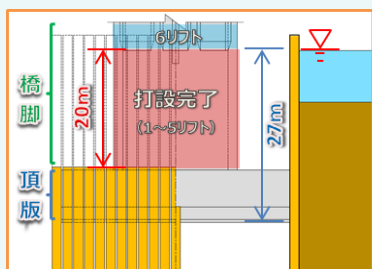
橋脚コンクリート（5リフト）を打設しました（全9リフト）

2018年2月3日に『橋脚』5リフトのコンクリートを打設しました（全9リフト）。橋脚は海底から20mの高さまで構築を完了しており、下断面図のように、ちょうど海面の高さまで橋脚が伸びたこととなります。今後も橋脚の構築作業を進め、次回6リフトのコンクリート打設が完了すれば、海面下27mから底盤、頂版と構築を進めてきた橋脚が遂に海の上に姿を現します！！2018年夏ごろには橋脚の構築が完了する予定です。また、A2橋台では2月に掘削を開始致しました。

世界最高品質の橋脚・橋台を目指して今後も安全に施工を進めて参ります。引き続き、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



コンクリート打設状況（上空）



断面図



コンクリート打設状況（井筒内）



A2橋台現況

コラム

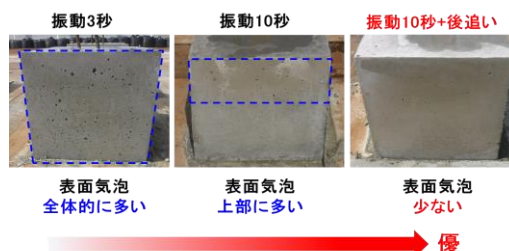
頑丈なコンクリートには「振動」が必要！？

橋脚の品質を左右するコンクリートですが、ただ流し込めばいいものではありません。材料（セメント、砂、骨材、水）毎の比率や量を綿密に計画・計量して練り混ぜていきますが、流し込む際にどうしても「気泡」が混ざってしまいます。そのまま放置すると、コンクリートは十分な強度を発揮することができなくなってしまいます。

そこで『バイブレータ』という機械を使って、流し込んだコンクリートに振動を与えていきます。こうすることで、余計な気泡をコンクリートから追い出し、鉄筋とコンクリートをより密着させ、コンクリートの密度を高めることができます。これを『締固め』といい、本来のコンクリートの強度を十分に発揮させるだけでなく、表面に気泡のない、高品質なコンクリートをつくるために必要不可欠な作業です。

ですが、右図のように振動を与える時間・方法によって品質が変わり、また大量のコンクリートを次から次へと締固める必要があるため、非常に繊細で大変な作業です。世界最高品質のコンクリートを目指して、作業員さんたちが頑張って締固めてくれています！

振動時間と出来栄



表面気泡 全体的に多い 表面気泡 上部に多い 表面気泡 少ない

優



締固め状況写真

工事予定

年月	平成30年																																
日																																	
作業内容																																	
RC橋脚工																																	
橋脚構築工																																	
足場・鉄筋工																																	
型枠工、コンクリート打設																																	
備考																																	

現場HP更新！



クールでおもしろい仕事
おもしろ物語 ② 工事現場